安全データシート
ポリ（オキシエチレン）＝パラ - （１，１，３，３ - テトラメチルブチル）フェニル＝エーテル

改訂日　2022 年 5 月 31 日

1. 化学物質等の名称及び会社情報

製品の名称	NucleoSpin DNA Forensic, NucleoMag DNA Forensic, Buffer FOB
該当コンポーネントの名称	Binding Buffer FOB, Wash Buffer FOW1
会社名	タカラバイオ株式会社
住所	〒525-0058　滋賀県草津市野路東七丁目 4 番 38 号
担当部署	タカラバイオテクニカルサポートライン
電話番号	077-565-6999
FAX 番号	077-565-6995
製品コード	744660.1, 744660.4, 740841.100
TaKaRa Code	U4660A/B, U0841A

2. 危険有害性の要約（以下、濃度を記す項目以外は単一物質について示す）

GHS 分類　　分類実施日　　H23.3.15、政府向け GHS 分類ガイダンス（H22.7 月版）を使用

物理化学的危険性

危険・有害性項目	GHS 分類結果

健康に対する有害性

危険・有害性項目	GHS 分類結果
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2A

環境に対する有害性

危険・有害性項目	GHS 分類結果
水生環境急性有害性	区分 2
水生環境慢性有害性	区分 2

注）上記で区分の記載がない危険有害性は政府向けガイダンス文書で規定された［分類対象外］、［区分外］または［分類できない］に該当するものであり、後述の該当項目の説明を確認する必要がある。

ラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語	警告
危険有害性情報	強い眼刺激。水生生物に毒性。長期的影響により水生生物に毒性。
注意書き	【安全対策】 取扱後は眼をよく洗うこと。取扱い後はよく手を洗うこと。適切な保護眼鏡、保護面を着用すること。環境への放出を避けること。 【応急措置】 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合：医師の診断、手当てを受けること。漏出物を回収すること。漏出物は回収すること。 【保管】 ー 【廃棄】 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3. 組成、成分情報

単一物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	ポリ（オキシエチレン）＝パラ - （１，１，３，３ - テトラメチルブチル）フェニル＝エーテル
別名	ポリ（オキシエチレン）＝オクチルフェニルエーテル、(Poly (oxyethylene) octylphenyl ether)、ポリエチレングリコール＝［４－（１，１，３，３－テトラメチルブチル）フェニル］＝エーテル、Triton X-100、alpha-[4-(1,1,3,3,-Tetramethylbutyl)phenyl]-ω-hydroxypoly(oxy-1,2-ethanediyl)
CAS No.	9002-93-1
濃度または含有率	1 - 5%
化学特性（化学式又は構造式）	分子式：$(C_2H_4O)_nC_{14}H_{22}O$　n=9-10　　示性式：
官報公示整理番号（化審法・安衛法）	

4. 応急措置

吸入した場合：	気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合：	水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合：	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合：	口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

予想される急性症状及び遅発性症状：

吸入：データなし	皮膚：データなし
眼：データなし	経口摂取：データなし

最も重要な徴候及び症状：情報なし

応急措置をする者の保護：データなし

医師に対する特別注意事項：

データなし

5. 火災時の措置

消火剤： 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤： データなし
特有の危険有害性： 加熱されると分解して、腐食性及び/又は毒性の煙霧を発生するおそれがある。火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法： 危険でなければ火災区域から容器を移動する。安全に対処できるならば着火源を除去すること。
消火を行う者の保護： 適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置：
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外の立入りを禁止する。密閉された場所に立入る前に換気する。全ての着火源を取り除く。
環境に対する注意事項： 環境中に放出してはならない。
回収、中和： 不活性材料（例えば、乾燥砂又は土等）で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。
封じ込め及び浄化方法・機材：
危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策 排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策： 特別に技術的対策は必要としない。
局所排気・全体換気： 『８．ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱い注意事項： 取扱後は眼をよく洗うこと。適切な保護眼鏡、保護面を着用すること。
接触回避： データなし。
保管
技術的対策： 特別に技術的対策は必要としない。
保管条件： ー
容器包装材料： データなし。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度： 未設定
許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標)：
日本産衛学会：未設定 ＡＣＧＩＨ：未設定
設備対策： この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には,適切な洗眼器と安全シャワーを設置すること。ばく露を防止するため、作業場には適切な全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
保護具
呼吸器の保護具： 適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具： 適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具： 適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具：
適切な保護衣を着用すること。
衛生対策： 取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

外観（物理的状態、形状、色など）：粘調液体 : Merck (14th, 2006)、淡黄色 : Merck (14th, 2006)
臭い：データなし pH：7-9（5%aq soln） : Merck (14th, 2006)
融点・凝固点：-4 ℃ : SRC Phys Prop (Access on Nov. 2010) 爆発範囲：データなし
引火点：251 ℃ (CC) : NITE 総合検索 (Access on Nov. 2010)
沸点、初留点と沸騰範囲：120 ℃ : SRC Phys Prop (Access on Nov. 2010)
自然発火温度：データなし 燃焼性（固体、ガス）：データなし
蒸気圧：0.000003 mmHg (25℃) : SRC Phys Prop (Access on Nov. 2010)
蒸気密度（空気 ＝1）：20.8(空気 = 1)(9EO) : CERI ハザードデータ集 (2001)
蒸発速度（酢酸ブチル＝１）：データなし 比重（密度）：1.0595 (25℃/4℃) : Merck (14th, 2006)
溶解度：5.36 mg/L : SRC Phys Prop (Access on Nov. 2010)、アセトンに溶解 : CERI ハザードデータ集 (2001)
オクタノール／水分配係数：4.86 : SRC Phys Prop (Access on Nov. 2010)
分解温度：データなし 粘度：データなし
粉じん爆発下限濃度：データなし 最小発火エネルギー：
体積抵抗率(導電率)：データなし

10. 安定性及び反応性

安定性：法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。
危険有害反応可能性：データなし 避けるべき条件：データなし
混触危険物質：データなし 危険有害な分解生成物：データなし

11. 有害性情報

急性毒性（経口）： データなし。（GHS 分類：分類できない）
急性毒性（経皮）： データなし。（GHS 分類：分類できない）
急性毒性（吸入）： 吸入（ガス）：GHS の定義における液体である。（GHS 分類：分類対象外）
吸入（蒸気）：
吸入（粉じん及びミスト）
皮膚腐食性・刺激性： データなし。（GHS 分類：分類できない）
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：
ウサギの眼に試験物質の 10%液を 0.1 mL 適用した試験（OECD TG405）において、刺激性（角膜混濁、虹彩炎、結膜の発赤と浮腫）が認められたが、症状は全て適用後 7～21 日にほぼ回復し、MMAS（AOI に相当）= 68.7 であった（ECETOC TR 48 (2) (1998)）。（GHS 分類：区分 2A）

呼吸器感作性：データなし。（GHS 分類：分類できない）　皮膚感作性：データなし。（GHS 分類：分類できない）
生殖細胞変異原性：データなし。（GHS 分類：分類できない）　発がん性：データなし。（GHS 分類：分類できない）
生殖毒性：データなし。（GHS 分類：分類できない）
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）：データなし。（GHS 分類：分類できない）
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）：データなし。（GHS 分類：分類できない）
吸引性呼吸器有害性：データなし。（GHS 分類：分類できない）

12. 環境影響情報

水生環境有害性（急性）：　魚類 (ブルーギル) の 96 時間 LC50 = 3 mg/L (ECETOC TR91, 2003)。（GHS 分類：区分 2）
水生環境有害性（長期間）：急性毒性区分 2 であり、急速分解性がない (BIOWIN)。（GHS 分類：区分 2）
オゾン層への有害性：　当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。（GHS 分類：分類できない）

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：　廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装：　容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制　UN No.：N/A
　海上規制情報　危険物に該当しない　航空規制情報　危険物に該当しない
国内規制
　陸上規制情報　危険物に該当しない　海上規制情報　危険物に該当しない
　航空規制情報　危険物に該当しない
特別安全対策　移送時にイエローカードの保持が必要。食品や飼料と一緒に輸送してはならない。輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。重量物を上積みしない。
緊急時応急措置指針番号　ー

15. 適用法令

毒物および劇物取締法：　該当しない
労働安全衛生法：　該当しない
化管法（PRTR 法）：　第 1 種指定化学物質（法第 2 条第 2 項、令第 1 条別表第 1）
麻薬及び向精神薬取締法：該当しない
航空法：　該当しない
船舶安全法：　該当しない

16. その他

引用文献等　各データ毎に記載した。

＊当社の販売する試薬は試験研究用途に限定しております。
＊製品を取扱う前に取扱説明書をよく読んで、専門知識のある技術者、研究者が取り扱い下さい。
＊危険性、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには十分注意をお願いします。
＊記載内容のうち、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。
＊注意事項等については通常の取り扱いを対象としたものですので、特殊な取り扱いについては、この点のご配慮をお願いします。